



2009～10 年度
国際ロータリー会長

ジョン・ケニー

Weekly Report Niigata



2009～10 年度
新潟ロータリー会長

小林 敬直



ロータリーの未来は
あなたの手の中に

2009～2010 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC 11月第2例会 (2009.11.17) No.2824

(1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

(2) 小林 敬直会長挨拶

こどもの成長を祝う七五三の行事の起源は、平安時代頃から公家の間で行われていたお祝いの行事でした。

その昔は小さな子どもが無事に成長するのが難しく、頭髪から病気が入ると考えられていました。そのため髪を剃ったり短くしていたのですが、無事に三歳を迎え、この節目から髪の毛を伸ばし始めます。この三歳のお祝いを「髪置」と言いました。

五歳のお祝いは、男の子が初めて袴をはく儀式です。大人の衣装(袴)をつけ、大人の仲間入りをするお祝いで、「袴着」と言いました。

七歳のお祝いは、女の子が子ども用の衣装から本仕立ての着物と丸帯を締め、大人の女性の仲間入りをするお祝いで、「帯解」と言いました。

七五三は、子どもの成長と健康に感謝し、今後もすこやかに成長をしてほしいという親の願いが込められたお祝いです。

以前は、数え年で祝いましたが、現在では満年齢で男子が五歳(地方により三歳も)、女子が三歳、七歳でお祝いする事が一般的になりました。

また千歳飴は、子どもへ長寿の願いを込めて与えます。陰暦の十一月十五日は十五夜(満月)にあたり、霜月の祭の日で、この日に農家は収穫に感謝するお祝いをしました。

中国の古い思想では、この日が「一陽来復」の吉日とされ、このめでたい日に七五三参りをすれば神様のご加護を感じる事が多いと思われています。

また江戸時代、五代将軍綱吉の子徳松君の祝儀が十一月十五日に行われたことから、この日にあやかって広く庶民の間で、十一月十五日にお参りがされるようになりました。

現在は、この日にこだわらず、都合の良い日に参拝をする傾向が強くなっています。

(3) 委員会報告

・竹石松次会員増強委員長

新会員のお申込を3名いただき、87名になります。後3名で90名の大台になります。会員増強にご配慮戴きありがとうございます。

・佐藤 紳一新世代奉仕委員長

新潟ロータリークラブ創立70周年記念事業・青少年育成基金事業に対する表彰・支援募集のご案内を差し上げましたが、まだお申込が2件しかございません。総額100万円を予定しておりますので、ぜひご応募下さい。

・平井和夫インターアクト委員

恒例のインターアクト献血キャンペーンを12月23日 10:00～18:00 新潟交通本社広場にて開催致します。ご協力戴ける方はお配り致しましたお願い状にご記入の上、一口5000円の寄付金と一緒に事務局へお願い致します。

・臼倉 淳君

先日の明治安田生命「愛と平和のチャリティーコンサート」に多くの方にご出席いただきまして、ありがとうございました。1400名を超えるお客様に多くのチャリティーをいただきました。新潟ロータリークラブの会員の方も沢山お見えになっていただき、感謝申し上げます。翌日の東新潟中学校での出張音楽教室もご好評をいただきました。これからも、社会貢献活動に積極的に取り組んでまいりますので、よろしく願いいたします。

(4) 会員スピーチ

「ロータリー財団月間に因むお話」

ロータリー財団委員長 下岡 正八君

11月24日の例会予定

会員スピーチ「ドラマ天地人が終わって」

NHK新潟放送局局長 菅 俊秀 君

ホームページを更新致しました!

新潟ロータリークラブ ホームページアドレス

<http://www.niigataarc.jp/>

新潟ロータリークラブ創立70周年記念式典
2010年4月23日(金)